

デジタル一眼レフカメラ入門 (その6)

2019年9月3日(火)~4日(水)

今年で6回目となる講座は、日本大学芸術学部写真学科 講師 穴吹有希先生を迎えて開催されました。湯河原万葉公園、熱海アカオハーブ&ローズガーデンと熱海駅周辺の商店街にて撮影会が行われました。



良い写真⇔直観

最初に座学を行い、良い写真とは何か?基本の構図、カメラの機能や設定について学びました。

良い写真とは、十人十色で定義づけられるものではありません。良い写真を撮るには、もちろん基本の構図はありますが、自分の直観を信じて写すことが大切であるとおっしゃられていました。

撮影会では、思い思いの被写体を見つけ、これでもかという感じでシャッターを切っていました。2日間で500枚近く写した方もいらっしゃいました。撮影後は、部屋に戻り、プロジェクターで作品を共有し、先生の講評が行われました。同じ被写体であっても、撮る人によってこんなにも違うのかと驚かされました。

今回も日本大学芸術学部写真学科学生の利川萌々さん、川中子涼音さん、野口花梨さんにお手伝いいただき、また撮影モデルとしても活躍いただきました。ありがとうございました。

ワンポイントアドバイス

おもしろいモノ(被写体)を見つけたら
まずは直感で撮る。そして、枚数を多めに撮りましょう。

- 上下左右縦横に角度を変えて撮る
写真集にした際、配置を工夫できる
- ピントを変える
被写体をぼかす
- 明るさを変える
花は暗めに撮るとより鮮やかに、料理は明るめに撮るとより美味しく
- 人を撮る時に動きを加える
歩いている人は足を広げたときに

写真展「わたしの見つけた瞬間」vol.6

誌上写真展



10月23日(水)~ 11月1日(金)
於中目黒GTギャラリー